



## 平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年10月31日

上場会社名 扶桑化学工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4368 URL <http://www.fusokk.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中野 佳信  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 武川 隆彦 TEL 03-3639-6311  
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月9日 配当支払開始予定日 平成30年12月10日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績（平成30年4月1日～平成30年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	21,310	8.8	5,243	△3.3	5,623	3.3	3,883	3.1
30年3月期第2四半期	19,579	13.6	5,424	19.1	5,445	22.1	3,767	23.3

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 4,068百万円 (△0.1%) 30年3月期第2四半期 4,071百万円 (96.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	109.38	—
30年3月期第2四半期	106.11	—

(参考) 減価償却前連結営業利益 (連結営業利益+減価償却費)

31年3月期第2四半期 6,281百万円 30年3月期第2四半期 6,063百万円

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第2四半期	68,627	53,390	77.8	1,503.80
30年3月期	64,231	50,146	78.1	1,412.21

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 53,390百万円 30年3月期 50,139百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	22.00	—	23.00	45.00
31年3月期	—	23.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	23.00	46.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成31年3月期の連結業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,000	6.9	9,350	△11.3	9,450	△8.9	6,450	△2.2	181.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

(参考) 減価償却前連結営業利益 (連結営業利益+減価償却費)

通期 12,670百万円 (4.3%)

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 簡便な会計処理および四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の有無となります。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期2Q	35,511,000株	30年3月期	35,511,000株
② 期末自己株式数	31年3月期2Q	7,197株	30年3月期	7,166株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期2Q	35,503,828株	30年3月期2Q	35,503,854株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
(4) その他 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(追加情報) .....	9
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、多発する自然災害の影響があったものの、好調な企業収益を背景として設備投資は底堅く推移し、雇用・所得環境の改善も続き、緩やかな回復基調が継続しました。また、世界経済は、欧米において企業収益は引き続き堅調で個人消費も底堅く推移し、中国をはじめとするアジア経済も安定的に成長を継続しました。しかし、欧米諸国に広がる政治情勢や保護主義政策、中国や新興国経済の成長鈍化に対する懸念があり、不透明な情勢が続きました。

このような情勢下、当社グループは増加する需要に対応するため、生産能力の増強、物流・生産体制の見直し、原料の安定確保、コスト競争力の強化、新製品の開発、そして海外展開等、経営基盤の更なる強化に取り組みました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は213億10百万円（前年同期比8.8%増、17億30百万円増）となりました。営業利益は原料価格の上昇、減価償却費等のコストアップの影響で52億43百万円（同3.3%減、1億80百万円減）、経常利益は為替差益の計上等により56億23百万円（同3.3%増、1億77百万円増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、38億83百万円（同3.1%増、1億16百万円増）となりました。

当社グループの報告セグメントの業績は、次のとおりです。

## (ライフサイエンス事業)

ライフサイエンス事業全体の業績は、外部顧客に対する売上高が128億71百万円（前年同期比9.1%増、10億77百万円増）、営業利益は16億22百万円（同3.1%減、51百万円減）となりました。

国内外の拡販および主要原料価格上昇に対応した販売価格改定に努めました。また、海外子会社の現地販売が各地域とも堅調に推移した結果、売上高は前四半期連結累計期間を上回りました。一方、営業利益はコスト削減に努めたものの、原料価格や輸入仕入価格の上昇、米国子会社PMP Fermentation Products, Inc.のアンチダンピング提訴に伴う費用計上の影響が利益を押し下げる要因となりました。これらの結果、ライフサイエンス事業全体では増収減益となりました。

## (電子材料および機能性化学品事業)

電子材料および機能性化学品事業全体の業績は、外部顧客に対する売上高が84億38百万円（前年同期比8.4%増、6億53百万円増）、営業利益は42億24百万円（同2.4%減、1億3百万円減）となりました。

半導体市場は引き続き堅調であり、半導体製造プロセスの微細化の進展により当社製品「超高純度コロイダルシリカ」への需要も継続して増加しています。増加する需要にこたえるため、生産能力の増強、品質安定化のための設備投資、生産要員の確保、分析能力の向上、出荷体制の見直し等に継続して対応しました。ナノパウダー等の半導体研磨分野以外に使用される製品の販売も引き続き堅調に推移し、売上高は前四半期連結累計期間を上回りました。一方、営業利益は、設備投資に伴う減価償却費の増加、増産体制確立のための要員確保による人件費の増加、原料価格の上昇等コストアップの影響が大きく、売上の増加、増産による原価低減効果、その他コスト削減に努めたものの、前四半期連結累計期間を下回り、増収減益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ43億96百万円増加し、686億27百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得、建設仮勘定の増加によるものです。

負債については、前連結会計年度末に比べ11億52百万円増加し、152億37百万円となりました。これは主に、設備投資に伴う未払金の増加によるものです。

純資産については、前連結会計年度末に比べ32億44百万円増加し、533億90百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものです。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較を行っております。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の業績予想につきましては、平成30年5月7日の決算短信で公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

## (4) その他

## (重要な設備の新設等)

前連結会計年度末において計画中であった重要な設備の新設等について、当第2四半期連結累計期間に変更があったものは、次のとおりです。

会社名 事業所 (所在地)	セグメントの 名称	設備の内容	投資予定額		資金調達方 法	着手及び完了予定	
			総額 (百万円)	既支払額 (百万円)		着手 (年月)	完了 (年月)
鹿島事業所	ライフサイエ ンス事業	リンゴ酸製造 設備新設 (注) 1	5,800	1,585	自己資金 (注) 2	平成29年11月	平成31年7月
京都事業所	電子材料および 機能性化学品事 業	超高純度コロ イダルシリカ の製造ライン 増設および改 造 (注) 1	4,800	2,853	自己資金 (注) 2	平成28年10月	平成31年1月 (注) 3
		超高純度コロ イダルシリカ の製造ライン 増設 (注) 1	8,050 (内訳) 7,450 600	4,044	自己資金	平成29年6月 平成30年1月	平成30年11月 平成31年7月

(注) 1. 既支払額を変更しています。

2. 自己資金の中には、平成27年12月に実施しました公募増資により調達した資金が含まれています。

3. 一部付帯工事が平成31年1月に完了するため、完了予定を変更しました。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,940,540	17,656,232
受取手形及び売掛金	11,279,937	11,523,988
有価証券	639,214	340,907
商品及び製品	6,339,258	6,460,227
仕掛品	280,537	343,296
原材料及び貯蔵品	1,389,590	1,313,651
その他	610,614	688,167
貸倒引当金	△7,366	△10,421
流動資産合計	39,472,326	38,316,049
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,763,706	6,275,812
機械装置及び運搬具(純額)	3,364,255	5,016,551
土地	3,061,235	3,068,146
建設仮勘定	8,721,084	11,643,983
その他(純額)	420,008	386,926
有形固定資産合計	21,330,289	26,391,420
無形固定資産	991,126	1,537,483
投資その他の資産		
投資有価証券	964,000	1,093,441
長期前払費用	245,818	195,067
繰延税金資産	926,763	861,543
退職給付に係る資産	82,507	71,009
その他	351,086	307,235
貸倒引当金	△132,835	△145,361
投資その他の資産合計	2,437,340	2,382,934
固定資産合計	24,758,756	30,311,839
資産合計	64,231,082	68,627,888

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,463,967	2,574,671
未払金	5,894,021	7,941,864
未払法人税等	1,687,612	1,665,277
賞与引当金	592,324	531,601
役員賞与引当金	4,600	51,600
役員退職功労引当金	936,450	—
修繕引当金	171,304	99,360
その他	520,479	606,009
流動負債合計	12,270,759	13,470,385
固定負債		
繰延税金負債	31,187	35,807
退職給付に係る負債	1,642,073	1,639,111
資産除去債務	8,526	8,526
その他	132,328	83,204
固定負債合計	1,814,116	1,766,649
負債合計	14,084,875	15,237,034
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,334,047	4,334,047
資本剰余金	4,820,722	4,820,722
利益剰余金	39,329,462	42,396,458
自己株式	△4,148	△4,238
株主資本合計	48,480,084	51,546,990
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	449,582	504,868
繰延ヘッジ損益	△19,353	11,194
為替換算調整勘定	1,228,844	1,327,800
その他の包括利益累計額合計	1,659,072	1,843,863
非支配株主持分	7,049	—
純資産合計	50,146,206	53,390,854
負債純資産合計	64,231,082	68,627,888

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	19,579,937	21,310,347
売上原価	10,933,190	12,586,018
売上総利益	8,646,746	8,724,328
販売費及び一般管理費	3,222,505	3,480,627
営業利益	5,424,241	5,243,701
営業外収益		
受取利息	26,724	31,856
為替差益	—	311,098
受取配当金	10,542	11,737
受取手数料	7,419	8,168
その他	12,006	23,763
営業外収益合計	56,693	386,625
営業外費用		
為替差損	33,826	—
貸倒引当金繰入額	—	3,552
その他	1,139	3,301
営業外費用合計	34,965	6,853
経常利益	5,445,968	5,623,473
特別利益		
投資有価証券売却益	0	4,785
関係会社株式売却益	—	9,224
特別利益合計	0	14,009
特別損失		
固定資産除却損	6,212	13,890
特別損失合計	6,212	13,890
税金等調整前四半期純利益	5,439,756	5,623,591
法人税、住民税及び事業税	1,639,758	1,710,577
法人税等調整額	32,619	29,153
法人税等合計	1,672,378	1,739,730
四半期純利益	3,767,378	3,883,861
非支配株主に帰属する四半期純利益	4	277
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,767,373	3,883,584



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)
四半期純利益	3,767,378	3,883,861
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	73,291	55,286
繰延ヘッジ損益	2,875	30,548
為替換算調整勘定	227,989	98,956
その他の包括利益合計	304,157	184,790
四半期包括利益	4,071,535	4,068,651
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,071,530	4,068,374
非支配株主に係る四半期包括利益	4	277

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	5,439,756	5,623,591
減価償却費	639,481	1,037,340
固定資産除却損	6,212	13,890
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,456	6,159
賞与引当金の増減額(△は減少)	△13,058	△59,055
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△4,200	47,000
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	36,993	9,182
役員退職功労引当金の増減額(△は減少)	—	△936,450
修繕引当金の増減額(△は減少)	—	△71,944
受取利息及び受取配当金	△37,267	△43,594
為替差損益(△は益)	12,650	△223,227
投資有価証券売却損益(△は益)	△0	△4,785
関係会社株式売却損益(△は益)	—	△9,224
売上債権の増減額(△は増加)	△1,362,097	△220,000
たな卸資産の増減額(△は増加)	△579,220	△113,759
仕入債務の増減額(△は減少)	310,901	104,799
未払金の増減額(△は減少)	△236,345	△87,809
その他	△951,365	50,210
小計	3,263,897	5,122,326
利息及び配当金の受取額	32,347	39,511
法人税等の支払額	△1,777,961	△1,696,772
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,518,283	3,465,065
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△107,254	△209,023
定期預金の払戻による収入	395,783	10,200
有価証券の取得による支出	△333,210	—
有価証券の売却による収入	334,021	336,247
有形固定資産の取得による支出	△2,152,217	△3,866,196
無形固定資産の取得による支出	△59,293	△655,234
投資有価証券の取得による支出	△3,046	△3,761
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	5,608
投資有価証券の売却による収入	0	8,035
長期貸付金の回収による収入	162	—
その他	△9,396	△982
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,934,452	△4,375,105
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	—	△89
配当金の支払額	△887,555	△816,496
非支配株主への配当金の支払額	△400	△400
リース債務の返済による支出	△3,324	△3,324
財務活動によるキャッシュ・フロー	△891,280	△820,310
現金及び現金同等物に係る換算差額	57,684	241,071
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,249,765	△1,489,279
現金及び現金同等物の期首残高	23,985,230	18,930,340
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,735,464	17,441,060

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ライフサイエ ンス事業	電子材料およ び機能性化学 品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,794,273	7,785,663	19,579,937	—	19,579,937
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	11,794,273	7,785,663	19,579,937	—	19,579,937
セグメント利益	1,674,037	4,327,266	6,001,303	△577,062	5,424,241
減価償却費	192,439	433,622	626,061	13,420	639,481

(注) 1. ・セグメント利益の調整額は、提出会社の総務部門・経理部門等、一般管理部門に係る費用△577,062千円です。

・減価償却費の調整額は、提出会社の総務部門・経理部門等、一般管理部門に係る減価償却費13,420千円です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

3. 減価償却費には、長期前払費用に係る償却費が含まれています。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ライフサイエ ンス事業	電子材料およ び機能性化学 品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,871,671	8,438,675	21,310,347	—	21,310,347
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	12,871,671	8,438,675	21,310,347	—	21,310,347
セグメント利益	1,622,358	4,224,172	5,846,530	△602,829	5,243,701
減価償却費	327,807	699,508	1,027,316	10,024	1,037,340

(注) 1. ・セグメント利益の調整額は、提出会社の総務部門・経理部門等、一般管理部門に係る費用△602,829千円です。

・減価償却費の調整額は、提出会社の総務部門・経理部門等、一般管理部門に係る減価償却費10,024千円です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

3. 減価償却費には、長期前払費用に係る償却費が含まれています。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

該当事項はありません。